

放課後等デイサービス ケアワーカーズいぶき 自己評価表

R2.8月 合同会社ケアワーカーズいぶき

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			集団活動を行うにあたり、支障なし。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	完全なバリアフリーではないが、現在来所いただいているお子さんに対しては、問題は発生していない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援前には、個々の計画に対する目標の確認、支援後の振り返りで次回利用時の対応策を検討している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果の分析を行い、社内で業務改善につながるよう定例ミーティングを実施。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			リタリコに掲載 自社HPに掲載
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後の検討課題としたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			スタッフミーティングを定例で実施し、資質向上に努めている。また、強度行動障害研修への職員派遣等を行い、スタッフのスキルや資質の向上を務めている。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			適時アセスメントを行い、課題分析をしたうえで、個別支援計画書の作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		実施はしているが、標準化までは至らないため、今後の検討課題としたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ全員でプログラムの立案を行っている。プログラムに必ず「目的」を持たせるよう、意識して行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動レパートリーをジャンル分けし、固定化しないよう、プログラムを構成している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動に「目的」をもって行えるよう意識している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団・個別の目標を組み合わせで計画立案している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にスタッフミーティングを行い、支援内容や前回ご利用時の様子、その子の課題、スタッフの役割分担などを確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後はミーティングを行い、支援の振り返りを実施。気づきを共有し、次回の支援へつなげられるよう、記録している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後のミーティング内容を踏まえ、記録を行い、次回の支援時の対応方法などを検討している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適時モニタリングを実施し、計画書のみなしを実施している。
関	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			ガイドラインの②基本活動 ア～エを複合的に組み合わせで実施している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者やかかわりの多いスタッフが参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校からの引き渡し時に、学校での様子を確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な子の実績なし。

放課後等デイサービス ケアワーカーズいびき 自己評価表

R2.8月 合同会社ケアワーカーズいびき

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
係機 や保 護者 との 連 携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			適時実施している。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			情報公開の依頼、同意が得られれば、情報提供する
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		適時実施している
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在はそのようなニーズもないため、積極的な交流の場を設けてはいない。 今後の検討課題としたい
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		市主催のミーティングに参加し、適時提言や情報交換・情報共有等を行っている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や支援システム等を活用し、課題に対しどういった様子だったか適時発信している。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			モニタリングや面談等の機会でも適時実施している
保 護者 へ の 説 明 責 任 等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を実施
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適時実施している
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は存在しないが、親子イベント等を通して、保護者同士のつながりが取れるよう、今後検討していきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情の対応体制について説明している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			支援システム導入により、日々の活動の様子や事業所との連絡が容易にできるような仕組みができています。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			十分注意して管理している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんとの意思疎通については、支援の中で有益な方法を模索しながら、適時対応している。 保護者様との情報伝達は、システムの活用によるブログの発信やEmail、保護者とスタッフ間の掲示板機能などを活用し、情報共有を図っている。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待するようなイベントはないが、地域の方々との交流をもって、本事業に対しご理解をいただけるよう、努めている。	
非 常 時 等 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルはあるが、周知という点で力不足を感じる。現在、内容を見直しを実施中。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練（火災・地震を想定）を実施している。保護者様への発信ができていないため、発信方法等今後検討する。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員ミーティングを定期的にも実施している。その際、テーマとして扱っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			ご家族同意を得て、対応している。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			ご家族から食物アレルギーのヒヤリングを行い、提供時に確認している。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例集を作成し、全体ミーティング時に共有している。	